

# 投票率100%伝説



## 「これでいいのか？民主主義」

## コンセプト

選挙というものは、私たちの代表を決める重要な手段であるにもかかわらず、選挙制度が始まって以来、年々投票率が低くなってきています。ここ最近でその投票率の低下が特に目立っています。この投票率の低下を防ぐとともに、より高い数字を得るために私たちは選挙活動の仕方の工夫と投票のシステムを改善する必要があると考えました。

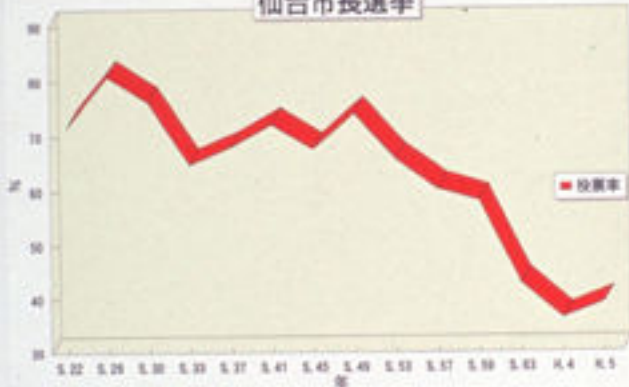
そこで私たちは、まず選挙活動における選挙ポスターの改善について考え、投票システムにおいては今までの本人投票所投票主義に加えて、電話や郵便、パソコンなどを利用した投票システムを考えました。また、今までの投票期間は1日だけという短い期間で行われていたので、その投票日に予定がつかまって投票できない人のためや、ハガキの郵送期間のために投票期間を1週間に伸ばそうと考えました。



「選挙選挙」 昭和43年、岩手県全地区に立候補した市川英樹は2位当選。この写真を見てわかるように当時は、選挙に対して関心が高かったことがうかがえます。

写真：朝日新聞社

### 仙台市長選挙



## グラフ

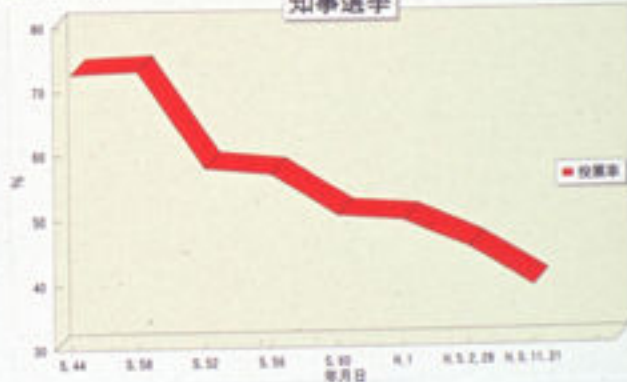


## なぜに低下？

グラフを見ればわかるように、仙台市長選挙の投票率は昭和28年で80.9%であるのに対し、平成4年の投票率は36.2%とおよそ25年で50%近くも落ち込んできています。低下した理由として考えられることの一つに投票所に行くことがめんどろであるということが挙げられます。二つめの理由に選挙に対する関心が薄れてきているということが挙げられます。この二つが投票率を低下させている理由の大半を占めていると考えられます。



### 知事選挙



# 投票率100%伝説



今までのポスター



木村 健一  
高専党

改善されたポスター

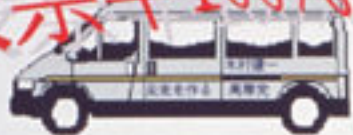


木村 健一  
高専党

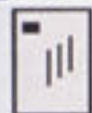
従来のポスターは立候補者の写真と名前、所属党派のみが記載されているというシンプルなもの、いまいちインパクトにかけておきただけの掲示物というイメージが強いものでした。

私達が改善したポスターは今までのポスターにひと工夫加えて、その立候補者の考えている政治を人物の背景に明るいイメージで配置し、インパクトがあるポスターにしました。

# 投票率100%伝説



## 今までの投票システム



- 1 有権者にハガキが届く。
- 2 そのハガキを持参して、各投票所に行く。
- 3 投票用紙に自分が選んだ立候補者を書き、投票箱に入れる。

## 改善された投票のシステム

### 3つに共通すること

- 1 立候補者に番号をつける。
- 2 一人の投票者に対して一つの暗証番号を定める。
- 3 暗証番号と投票所の電話番号、アドレスをのせた往復ハガキを本人に届ける。(このハガキはマークシート付きのエスマールを使用します。)



### エスマールとは



普通のハガキの内側に取り外しが簡単なシールが張り付けてあり、そのシールをはがすと中に書いてある内容が見えるシステムになっているハガキのことを言います。

### 電話による投票の仕方



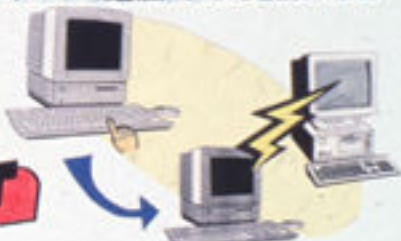
- 1 ハガキが届いたら期間内に投票所に電話をかけ、「はい ○○投票所です。ハガキに書いてある暗証番号をプッシュして下さい。」のアナウンスが聞こえたら暗証番号をプッシュします。次に「立候補者の番号をプッシュして下さい。」というアナウンスが流れます。そうしたら自分の選んだ立候補者の番号をプッシュします。そうすると、「投票所に送ります。電話をきって下さい。」というアナウンスが流れます。これで投票したことになります。
- 2 1で行った作業が投票所に送られます。これで投票の完成となります。

### 郵便による投票の仕方



- 1 ハガキが届いたら期間内にマークシートの欄を見つけ、自分の選んだ立候補者の番号の部分にえんぴつできれいに塗りつぶします。そしてそのハガキをポストに投函します。
- 2 1で送られたハガキが投票所に届きます。これで投票の完成となります。

### パソコン(通信)による投票の仕方



- 1 ハガキが届いたら期間内にパソコン内の暗証番号欄に暗証番号を打ち込み、さらに立候補者番号欄のところに自分の選んだ立候補者の番号を打ち込みます。そしてそれを投票所に送信します。
- 2 1で送信された内容が投票所に届きます。これで投票の完成となります。

投票所

